

## Ⅶ「平成22年度 教育委員会点検・評価」の総合評価について

「平成22年度—高砂市教育委員会—点検・評価報告書」その他の関係資料の閲覧や各課所長からのヒアリング等を通して、高砂市教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検・評価について所見を述べる。

評価については、学識者2名で検証を行い、2名の合議により作成した。

廣岡 徹・原 八千子

### 1 総合評価

#### (1) 評価の適正化について

高砂市教育委員会の事務事業は、前年度の「点検・評価」を踏まえ、的確な検証・自己評価の基に適切に計画・実施されているものとする。

評価・点検にあたっては、各種事業の体験や見聞をもとにしながら、関係資料を閲覧し、また各課所長からのヒアリングを通して、高砂市教育委員会の事務の管理及び執行の状況を詳細に知ることができた。

#### (2) ヒアリングの状況について

ヒアリングにおいては、各課所長それぞれの説明について質疑を行ったが、丁寧にかつ誠実に回答をいただき、点検・評価のシステムが有効に機能しているとの思いを深くした。

加えて、2人の評価委員が、それぞれの立場・見識で質疑できたこともよりこの検証・評価を確かなものにするのができたと思う。ただ、事業によっては、口頭による説明が中心で、その評価の根拠を明確にしにくいものもあり、今後、個々の事業評価書の作成やアンケートの実施とその結果など、分かりやすい資料の提示に留意いただきたい。

#### (3) 施策、事業の執行について

また、いっそう財政的制約が厳しさを加える中で、教育委員会、学校園、その他関係機関が経費節減、事業の見直しを進め、多岐にわたる所掌事務・施策について、新規・拡大・継続・見直し・縮小・休廃止の明確化を推進し、さらには他部局との施策・事業の整合性を図るなど、効率的・効果的な執行に努める姿勢は、高く評価できる。

ただ、依然として財政状況は厳しく、事業等の見直しについても、経費等の面では限界の状況に来ているようにも思える場合もあり、今後の検討が必要であろう。

#### (4) 予算の組み立てについて

予算の編成にあたっては、昨年同様、学校園、保護者、その他、各種団体や市民の声を求めるなど、それぞれとのコミュニケーションを図りながら、教育委員会としての責務を果たすための主体性とそれぞれのニーズへの対応について、その関係性に十分に留意しつつ取り組まれている。

なお、児童生徒の安全安心の基盤ともなる施設・設備に瑕疵がないよう留意いただくとともに、学校園での主体的な点検について指導いただきたい。また、自然災害や事件・事故への対応についても、適切な対応をお願いしたい。

また、国や県の指定や事業を受けることは、外部資金の獲得という財政的視点からも評価できる。今後、国や県の財政的措置が不透明な部分もあるが、情報の収集を行い、獲得に努めていただきたい。

#### (5) 「特色ある高砂市の教育」の推進について

今年度も「高砂市の教育」、「学校教育の基本方針」等により教育の目標・指針を明確に提示し、教職員の意識啓発と組織的取組を促すとともに、郷土の自然や産業、文化を基盤とする「環境体験事業」、「いきいき学校応援事業」についても、継続しての充実をお願いしたい。

## 2 次年度の留意点

今後も、よりいっそう質の高い高砂市の教育を推進するために、昨年と同様ではあるが、引き続き次の点に留意いただくことを願います。

### 1 学校を支援する仕組みの充実

- ① 地域社会全体で様々な教育活動・学習活動を支えるために、学校園、社会教育・生涯学習施設、地域住民との連携を推進するためのプログラムを策定し、地域住民の当事者意識を高めるための取組みが望まれる。
- ② 高砂市内には、世界的なレベルにある企業が多数あり、学校と連携し、キャリア教育や国際理解、あるいは高い技術力など、その潜在的な教育資源としての力を引き出すことが求められる。

### 2 めりはりある経費の配分

財政的な限界の中で、引き続き無理と無駄の排除に努めるとともに、明確な政策決定のもとで、時には資源の集中や重点的な予算配分も考える必要がある。

### 3 教育振興基本計画の推進と評価・検証

「高砂市教育の振興」は、学校園における日々の堅実で地味な取組とともに、教育委員会のリーダーシップによる中期・長期にわたるグランドデザインの着実な実現によって実現される。絶えず、教育振興基本計画の進捗状況を検証することが求められる。

今、学校においては「特色ある学校づくり」、「開かれた学校づくり」が求められているが教育委員会においても、この点検・評価を通して「特色ある高砂の教育づくり」、「開かれた教育委員会づくり」がいっそう進むものと期待したい。

### 4 教職員の資質の向上について

教職員の不祥事は、学校や教育への不信につながる。適切に対応いただいているが、学校内外の研修を通じて、不祥事防止の提言の趣旨の浸透を図ることが求められる。

### 3 評価の方法等について

#### 1 評価の方法等について

概ね適切である。

教育委員会の所掌事務について、点検・評価書として、事業名ごとに実施内容、評価コメントと事業の方向性等を並べ、見やすく分かりやすいものとなっており、その内容等についてのヒアリングや検証も円滑に行うことができた。

自己評価の方法については、①市民ニーズの反映度、②目的・対象・手段の妥当性③必要性（緊急性）、④効率性、⑤有効性の各観点について、それぞれ起案・実施者の狙いが重み付けさせており、事業の目的や狙いが分かりやすいものとなっている。

また5つの観点における評価点合計で数値化しており、分かりやすく、概ね適切と言える。

#### 2 ヒアリングについて

適切である。

各課所長とも、資料等を提示しながら、適切かつ明確な対応をいただいた。

#### 3 資料等について

概ね適切であるが、具体的な事業について、成果としての数値が可能なもの（例：行事の参加人数、達成の比率等）については、数値目標、または数値の変化等を提示するなどの工夫をお願いしたい。

点検評価も開始後、3年を経過していることもあり、評価の指標等の導入も視野に入れるなど、工夫をお願いしたい。

### 4 各領域について

#### (1) 学校教育の充実

以下、領域別に述べる。詳細は事務事業一覧をご覧ください。

#### I 学校教育の充実

##### (1) 就学前教育

園舎の安全は、園児の学びや生活の基盤である。耐震診断の完了にあわせ、今後の耐震補強についても、円滑な進捗を期待したい。

教育振興事業においては、幼稚園を核に地域住民や未就園児親子との交流が進められ、地域・家庭との連携を通して「開かれた園づくり」が推進されている。また、取組を通して幼稚園の地域の子育て支援の役割がいつそう深まることが期待できる。

また、幼稚園における給食についても、小学校との親子方式への移行が計画的に実施されており、保護者の要望に応える点で「食育」の推進、その進捗が期待される。

なお、少子化にともない学校間での児童生徒数に差が生じている。適正規模については、様々な考え方があるが、高砂市の教育振興基本計画との関連もあわせて、今後の検討が必要であろう。

##### (2) 義務教育

### (3) 特別支援教育

小・中学校及び特別支援教育における取組については、教育目標・重点事項等との関連で記述することとしたので「5 学校教育の充実について」を参照いただきたい。

### (4) 高等学校教育

高等学校奨学金支給事業及び定時制高等学校の振興にかかる学校振興事業については、定時制高校の役割に鑑み、政府の高等学校授業料の無償化にかかわらず継続が求められる。

## II 生涯学習の充実

### (1) 生涯学習

財政環境の悪化の中で、生涯学習関連経費は縮小の傾向にあるが、内容や方法の検証を進め、効率的・効果的な推進に努めており、評価できる。

社会教育委員の会においては、その専門性を活かし、今後も生涯学習の在り方や具体的な施策について適切な提言をお願いしたい。

放課後子ども教室について、生涯学習の観点からの取組は評価できる。今後は、学童保育との連携についての検討も含め、いっそうの充実をお願いする。

### (2) 学習拠点施設

公民館における、公募による民間人館長の登用は、指定管理制度とともに、公民館活性化の新たな手法として期待されるが、その成果と課題の検証を進めることで、いっそうの充実をお願いしたい。

図書館は、地方自治体における文化のバロメーターの側面があり、市民ニーズも高い。生涯学習の基盤施設でもある。経費の効率的合理的使用に努め、充実を図ることが望まれる。

公民館図書室においても、管理上の問題等を勘案し、新たなサービスの在り方を検討いただきたい。

高齢者大学においては、適切なニーズの把握に努めつつ事業の改廃を行うなどの取組も評価できる。とはいえ、これからの半世紀は高齢者が地域の担い手とならざるを得ない状況となっており、高齢者大学においても、地域の活性化と安全安心のために「新たな公共」を担うという観点での取組について、計画いただきたい。

生涯学習における受益者負担とともに、受講者自身が運営に参画するなど、ソフト面の充実を期待したい。

## III 青少年の健全育成

地域社会の安全安心が危ぶまれる現代社会にあって、青少年の健全育成の取組は不可欠と言える。啓発活動、実際の補導など、地道な取組ではあるが、継続しての取組をお願いしたい。

また、実際の補導活動を推進する一方で、地域の青少年活動の核となるリーダーの養成も重要である。青少年の仲間づくり事業の成果に期待したい。

## IV 芸術・文化の振興

高砂市には謡曲に代表されるように豊かな伝統・文化があり、様々なジャンルの芸術活動も活発に行われている。また、郷土の文化財は生きた歴史とも言える。

加えて、地場産業とともに世界的企業の存在も大きく地域文化に関わっている。そういう文化資源も、学校園で活用いただきたい。

個々のグループの活性化と相互の連携を図るとともに、子どもたちの郷土を愛する心の育成のためにも、取組の継続と内容の充実をお願いしたい。

#### V スポーツ・レクリエーションの振興

スポーツ・レクリエーションの振興は、子どもたちの生涯スポーツの基礎づくりと市民の健康づくりに資するとともに、スポーツ大会は市民意識の醸成と地域の活性化には不可欠である。体育館の指定管理とあわせて、スポーツ大会の指定管理についても大会の存続・改編等の検証を行いながら、いっそうの充実をお願いする。

#### VI 人権・平和の尊重

人権教育事業については、「こころの豊かさと人を尊重したまちづくり」推進のために充実を期されており、それぞれの事業の参加者も多数であり、引き続き充実に努めていただきたい。

#### VII 教育行政

教育委員会の形骸化が言われる中で、本市においては、具体的かつ適切な提言と審議がなされ、一定の成果をあげているものと考えられるが、教育改革の流れの中で、委員それぞれがこれまでの見識に加えて、さらに最新の状況についての研鑽が望まれる。

また、個々の教育委員においては、学校園や地域の社会教育施設への訪問など、教職員や担当者にとっての励みにもなり、学校園や施設に「身近な教育委員会」づくりに務めていただきたい。

事務局の事務管理も適切であり、今後も引き続き、本市教育の充実と発展に寄与願いたい。

## 5 学校教育の充実について

### (1) 総合評価

高砂市教育委員会における事務の執行、施策の実施等は、「学校教育の基本方針」との関連が図られ、それぞれに計画的な経費の措置がなされ、その目標の実現を図っているという点で、理念と施策の整合性は、十分に図られており、評価できる。

### (2) 教育目標・重点目標・実践内容の関係について

教育目標として、児童生徒の「自己実現」と社会人としてよりよい社会づくりに貢献する「社会性の育成」をかかげ、サブテーマとして「知・徳・体」の調和の取れた育成を家庭・地域との連携により推進を目指すという、義務教育におけるミッションを十分に踏まえ、適切なものとなっている。

また重点目標 1～4、それぞれの下位目標である 1 2 の項目の関係、さらには各項目における実践内容との関係も明確で適切であると言える。

なお、「学校教育の基本方針」に記載された教育目標、重点目標、重点課題、実践項目は、教育行政においても、学校園の取組においても重要な指針でもあることから、研修等を通して、その認識と理解の浸透を図っていただきたい。

### (3) 重点的取組事項

個々の取組みは事務事業一覧にゆずるとして、重点取組事項について述べておきたい。

#### 1 社会性と自主性を育む生徒指導

児童生徒は、家庭と学校の教育活動全般を通して、健全な社会性と何事にも自主的・主体的に取り組む姿勢で育んでいく。道徳教育の充実とあわせて、いっそうの取組が求められる。

#### 2 一人一人を生かす（習得・活用）学習指導

児童生徒は、学び分かることで学習活動への意欲を高め、自ら課題に取り組むようになる。また、自分の考えをよりの確にまとめ、表現することで思考はさらに深まっていく。

表現活動は、今次の学習指導要領の眼目でもある。

効果的な指導の方法の開発と普及に努めていただきたい。

#### 3 「教育のプロ」としての強い自覚とチームとしての取組

教育という職務には、際限のない専門性の獲得と健全な社会性が求められるとともに、強い使命感と倫理観が求められる。学校への信頼の基本は、まさに教員一人一人にかかっていると言って過言ではない。教育に携わる者に、不祥事があってはならない。

この取組の成果と課題を、各学校園で共有し、今後もいっそうの研鑽をお願いする。

以上、高砂市の教育について、2人の委員の合議による評価の概略を述べた。

この評価を各学校園で共有し、各学校園の状況に応じて、それぞれの教育活動の指針としていただきたい。

高砂市の教育のいっそうの発展と充実を期待する。